



## 2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス 上場取引所 東  
 コード番号 7354 URL <https://dmix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長CEO (氏名) 小林 祐樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 土井 元良 TEL 06 (6809) 1615  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	26,106	13.3	4,811	10.5	4,780	13.1	3,048	3.9	3,048	3.9	3,014	2.7
2021年12月期第3四半期	23,039	38.2	4,352	43.6	4,224	42.1	2,935	46.4	2,935	46.4	2,935	46.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	68.35	63.38
2021年12月期第3四半期	72.22	61.33

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	28,094	14,504	14,504	51.6
2021年12月期	26,837	11,599	11,599	43.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2021年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	10.6	5,500	15.1	5,450	17.4	3,770	17.2	3,770	17.2	84.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	44,711,000株	2021年12月期	44,457,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	300株	2021年12月期	278株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	44,596,157株	2021年12月期3Q	40,632,425株

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により厳しい状況が続いていましたが、ワクチン接種の進展や各種規制の緩和等により経済活動の正常化に向けた持ち直しの動きがみられました。しかしながら、為替市場の急激な変動や、国際情勢の緊迫化による影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当業界においては、アウトソーシング需要が引き続き堅調に推移したことに加え、生活様式の変化やDXの推進を背景に、非対面販売チャネルをはじめとする新たなサービスへのニーズが高まっています。

こうした環境のもと、当社グループは通信インフラからの業務受託が順調に展開したほか、新たな事業領域の開拓も進みました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種予約関連業務が堅調に推移したことにより利益を押し上げるとともに、社会インフラとしての一翼を担いました。

加えて、成長戦略を推進するため、既存顧客の深耕や新規クライアントの開拓に注力したほか、採算性の向上や低採算業務の見直しなどにより収益力アップに努めてきました。さらに、競争力の源泉である優秀な人材の確保、育成を図るため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を勘案した多様な勤務体系やオフィス環境の改善、独自の教育体制・評価体系の構築等、従業員が活躍できる環境づくりを進め、働きがいのある企業風土の醸成に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益は26,106百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は4,811百万円（前年同四半期比10.5%増）、税引前四半期利益は4,780百万円（前年同四半期比13.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,048百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

## (マーケティング事業)

既存顧客や新規クライアント向け業務受託が順調に推移したほか、新型コロナウイルスワクチン接種関連の業務受託等が業績向上に寄与しました。

この結果、マーケティング事業の売上収益は23,882百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は5,680百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

## (オンサイト事業)

近年の労働環境の変化により営業人材の派遣ニーズは底堅く推移しました。一方、労働市場において、優秀な人材の確保や知名度の底上げを狙うため、広告宣伝活動に係る費用を増加しました。

この結果、オンサイト事業の売上収益は3,734百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益は9百万円（前年同四半期比90.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	26,837	28,094	1,257
負債合計	15,238	13,589	△1,649
資本合計	11,599	14,504	2,905
資本（親会社の所有者に帰属する持分）	11,599	14,504	2,905

## (資産の分析)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、28,094百万円となりました（前連結会計年度末は26,837百万円）。これは主に、現金及び現金同等物が1,325百万円、その他の流動資産が115百万円及びその他の金融資産が114百万円それぞれ増加した一方、営業債権及びその他の債権が239百万円減少したこと等によるものです。

（負債の分析）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、13,589百万円となりました（前連結会計年度末は15,238百万円）。これは主に、その他の流動負債が127百万円増加した一方、営業債務及びその他の債務が1,008百万円、借入金金が572百万円及びその他の金融負債が141百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

（資本の分析）

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、14,504百万円となりました（前連結会計年度末は11,599百万円）。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が2,826百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,325百万円増加し、6,392百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3,417百万円となりました（前年同四半期は2,975百万円の収入）。これは主に、税引前四半期利益が4,780百万円、減価償却費及び償却費が1,082百万円の計上、営業債権及びその他の債権の増加が233百万円、営業債務及びその他の債務の減少が958百万円及び法人所得税の支払額が1,374百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、474百万円となりました（前年同四半期は954百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が302百万円生じたこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1,617百万円となりました（前年同四半期は1,492百万円の支出）。これは主に、長期借入金の返済による支出が580百万円、リース負債の返済による支出が851百万円及び配当金の支払額が222百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年8月12日の「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,067,037	6,391,957
営業債権及びその他の債権	4,494,008	4,254,729
その他の流動資産	140,480	255,571
流動資産合計	9,701,525	10,902,257
非流動資産		
有形固定資産	1,672,583	1,686,115
使用権資産	2,867,517	2,798,712
のれん	10,984,224	10,984,224
その他の無形資産	76,916	62,277
繰延税金資産	495,409	510,699
その他の金融資産	1,022,457	1,136,906
その他の非流動資産	16,275	12,443
非流動資産合計	17,135,381	17,191,375
資産合計	26,836,906	28,093,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,177,961	3,169,529
借入金	768,993	769,702
未払法人所得税	1,078,615	963,492
その他の金融負債	1,014,877	1,063,088
その他の流動負債	1,019,382	1,146,703
流動負債合計	8,059,827	7,112,513
非流動負債		
借入金	4,972,268	4,399,956
引当金	358,573	368,489
その他の金融負債	1,841,879	1,700,386
その他の非流動負債	5,182	7,790
非流動負債合計	7,177,903	6,476,621
負債合計	15,237,730	13,589,135
資本		
資本金	1,866,828	1,930,308
資本剰余金	1,854,394	1,896,240
利益剰余金	7,824,058	10,650,006
自己株式	△463	△500
その他の資本の構成要素	54,358	28,444
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,599,176	14,504,498
資本合計	11,599,176	14,504,498
負債及び資本合計	26,836,906	28,093,633

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	23,039,033	26,106,494
営業費用	△18,729,081	△21,327,043
その他の収益	45,922	49,928
その他の費用	△3,653	△18,699
営業利益	4,352,221	4,810,679
金融収益	1,694	2,550
金融費用	△129,502	△33,357
税引前四半期利益	4,224,413	4,779,872
法人所得税費用	△1,289,740	△1,731,639
四半期利益	2,934,673	3,048,232
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,934,673	3,048,232
四半期利益	2,934,673	3,048,232
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	72.22	68.35
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	61.33	63.38

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	2,934,673	3,048,232
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	—	△34,710
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	△34,710
その他の包括利益合計	—	△34,710
四半期包括利益	2,934,673	3,013,522
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,934,673	3,013,522
四半期包括利益	2,934,673	3,013,522

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2021年1月1日現在	1,600,000	1,609,578	4,707,624	△69
四半期利益	—	—	2,934,673	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	2,934,673	—
新株予約権の増減	58,856	58,855	—	—
譲渡制限付株式報酬	40,326	△3,676	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△394
剰余金の配当	—	—	△100,252	—
所有者との取引等合計	99,182	55,179	△100,252	△394
2021年9月30日現在	1,699,182	1,664,758	7,542,045	△463

## その他の資本の構成要素

	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
2021年1月1日現在	83,216	—	83,216	8,000,349	8,000,349
四半期利益	—	—	—	2,934,673	2,934,673
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	2,934,673	2,934,673
新株予約権の増減	6,641	—	6,641	124,352	124,352
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	36,650	36,650
自己株式の取得	—	—	—	△394	△394
剰余金の配当	—	—	—	△100,252	△100,252
所有者との取引等合計	6,641	—	6,641	60,355	60,355
2021年9月30日現在	89,856	—	89,856	10,995,377	10,995,377

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2022年1月1日現在	1,866,828	1,854,394	7,824,058	△463
四半期利益	—	—	3,048,232	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	3,048,232	—
新株予約権の増減	19,855	19,855	—	—
譲渡制限付株式報酬	43,625	21,990	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△37
剰余金の配当	—	—	△222,285	—
所有者との取引等合計	63,480	41,845	△222,285	△37
2022年9月30日現在	1,930,308	1,896,240	10,650,006	△500

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計		
2022年1月1日現在	54,358	—	54,358	11,599,176	11,599,176
四半期利益	—	—	—	3,048,232	3,048,232
その他の包括利益	—	△34,710	△34,710	△34,710	△34,710
四半期包括利益合計	—	△34,710	△34,710	3,013,522	3,013,522
新株予約権の増減	8,796	—	8,796	48,507	48,507
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	65,615	65,615
自己株式の取得	—	—	—	△37	△37
剰余金の配当	—	—	—	△222,285	△222,285
所有者との取引等合計	8,796	—	8,796	△108,201	△108,201
2022年9月30日現在	63,154	△34,710	28,444	14,504,498	14,504,498

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,224,413	4,779,872
減価償却費及び償却費	750,924	1,081,950
固定資産除売却損	648	17,993
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,794	160
金融収益	△1,694	△2,550
金融費用	129,502	33,357
株式報酬費用	56,894	78,191
有給休暇引当金	80,861	47,707
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,086,061	△233,411
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△282,848	△958,241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	463,502	164,082
その他	△204,771	△200,603
小計	4,137,164	4,808,507
利息の受取額	33	52
利息の支払額	△35,472	△17,573
法人所得税の支払額	△1,127,179	△1,374,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,974,545	3,416,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△396,317	△301,840
無形資産の取得による支出	△12,320	△7,930
敷金及び保証金の差入による支出	△376,485	△75,923
その他	△168,612	△88,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953,734	△474,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△6,930,000	△579,990
長期借入れによる収入	6,000,000	—
配当金の支払額	△100,252	△222,285
新株予約権の行使による収入	104,108	35,930
自己株式の取得による支出	△394	△37
リース負債の返済による支出	△565,066	△851,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,491,604	△1,617,487
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	529,208	1,324,920
現金及び現金同等物の期首残高	3,692,215	5,067,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,221,423	6,391,957

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「マーケティング事業」、「オンサイト事業」の2つを報告セグメントとしています。

なお、報告セグメントを形成していない事業セグメント及び集約した事業セグメントはありません。

「マーケティング事業」においては、主に以下の事業を行っています。

① ダイレクトマーケティング

自社で運営するコンタクトセンターにおける当社グループのコミュニケーター（クライアント企業のエンドユーザーとダイレクトマーケティングチャネルを通じた直接の対話を行う当社の人材）による電話コンタクト、直接訪問、Webコンタクト等のチャネルを通じて、顧客企業に代わってエンドユーザーに対し商品・サービスのセールス、訪問のためのアポイントの獲得等を行っています。取扱商品・サービスの具体例として、当社の主要ターゲット市場のひとつである通信インフラセクターにおいては通信回線（固定通信、移动通信）や通信端末、その他付随サービスのセールス等を行っています。また、保険代理店として一般消費者向けに保険商品の提案も行っています。

② コンサルティング

ダイレクトマーケティングを通じて蓄積した情報資産を活用し、顧客企業の課題や目的に合わせた、営業・マーケティング戦略について戦略及び計画の策定からシステムの構築、実際の運用に至るまでのサービスの提供を行っています。コンタクトセンターの運用や商品開発に関する助言、営業部門の人員に対する研修、市場調査など多岐にわたるコンサルティングを実施しています。

③ ビジネス・プロセス・アウトソーシング

顧客企業の営業・マーケティング活動に関連する付随業務の受託により、自社で抱えているとコストや工数がかかる業務の一括代行等、煩雑な作業の省力化・簡素化をサポートする業務を行っています。具体例としてエンドユーザーと顧客企業間での契約締結事務の代行や、ダイレクトメール等のプロモーションメディアにかかる業務代行等を実施しています。

（注）プロモーションメディアはマスメディア・インターネットを除く他メディアを指します。

「オンサイト事業」においては、人材派遣事業として、顧客企業の営業・マーケティング部門のほか、当社グループ企業のマーケティング事業向けにコミュニケーター等の派遣を行っています。

「調整額」には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用には管理・監督を行う当社（持株会社 株式会社ダイレクトマーケティングミックス）の費用が含まれています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

セグメント間の取引は、市場実勢（第三者取引）価格に基づいています。

なお、財務費用などの営業損益に帰属しない損益は報告セグメントごとに管理していないため、これらの収益又は費用はセグメントの業績から除外しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	21,382,221	1,656,812	—	23,039,033
セグメント間収益	25,026	1,596,245	△1,621,271	—
売上収益合計	21,407,248	3,253,057	△1,621,271	23,039,033
セグメント利益 (注) 2	5,029,229	95,314	△772,321	4,352,221
その他の損益				
減価償却費及び償却費	699,787	5,727	45,410	750,924
金融収益	1,652	4	38	1,694
金融費用	△7,117	—	△122,385	△129,502
報告セグメントの税引前四半期利益	5,023,763	95,318	△894,668	4,224,413

(注) 1. セグメント利益の調整額△772,321千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△770,787千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	23,819,909	2,286,584	—	26,106,494
セグメント間収益	61,803	1,447,204	△1,509,007	—
売上収益合計	23,881,713	3,733,788	△1,509,007	26,106,494
セグメント利益 (注) 2	5,679,661	8,817	△877,800	4,810,679
その他の損益				
減価償却費及び償却費	1,036,685	7,422	37,843	1,081,950
金融収益	2,432	4	114	2,550
金融費用	△7,022	—	△26,336	△33,357
報告セグメントの税引前四半期利益	5,675,072	8,821	△904,022	4,779,872

(注) 1. セグメント利益の調整額△877,800千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△877,570千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

前第3四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	連結
売上収益				
外部収益	7,384,471	628,351	—	8,012,822
セグメント間収益	8,588	486,239	△494,828	—
売上収益合計	7,393,059	1,114,590	△494,828	8,012,822
セグメント利益 (注) 2	1,691,054	24,833	△280,868	1,435,018

その他の損益

減価償却費及び償却費	266,158	2,025	15,545	283,728
金融収益	699	2	16	717
金融費用	△2,514	—	△9,170	△11,684
報告セグメントの税引前四半期利益	1,689,239	24,834	△290,022	1,424,051

(注) 1. セグメント利益の調整額△280,868千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△281,468千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第3四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	連結
売上収益				
外部収益	6,973,168	760,742	—	7,733,909
セグメント間収益	11,965	388,728	△400,693	—
売上収益合計	6,985,132	1,149,470	△400,693	7,733,909
セグメント利益 (△は損失) (注) 2	1,142,493	△512	△266,823	875,157

その他の損益

減価償却費及び償却費	354,847	2,515	13,116	370,478
金融収益	843	1	42	886
金融費用	△2,196	—	△8,480	△10,675
報告セグメントの税引前四半期利益 (△は損失)	1,141,140	△511	△275,261	865,367

(注) 1. セグメント利益 (△は損失) の調整額△266,823千円には、報告セグメントに帰属しない営業費用△266,824千円が含まれています。

2. セグメント利益 (△は損失) は営業利益で表示しています。